

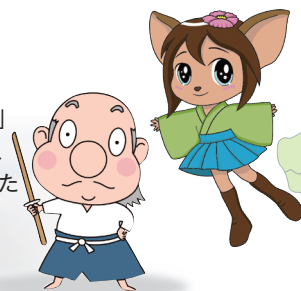
鹿嶋市

KASHIMA City

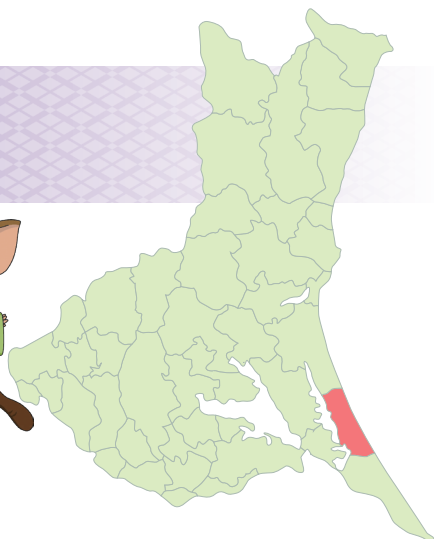
■由来／船をつなぐ杭を打った島、戕剝島(かししま)が転訛して「鹿島」になったという説をはじめ、「常陸国風土記」に使用された「香島(かおるしま)」や、神に関する「神の島」「鹿の島」「甕の島」などを由来とする説など、諸説あります。平成7年、鹿島町と大野村の合併の際、佐賀県鹿島市が既に存在していたことから、「島」を「嶋」とし、鹿嶋市が誕生しました。

■市の花／はまなす

木／松
鳥／ぎじ



ぼくでん・ナスカちゃん



北浦と太平洋に挟まれた水と緑の自然が豊かな鹿嶋市は、サッカーJリーグの鹿島アントラーズの本拠地として知られています。また、鹿島ハイツ、ト伝の郷運動公園、カシマスポーツセンターなどスポーツ施設の充実ぶりは目を見張るものがあります。また、鹿嶋市を代表するのは東国三社の一つの鹿島神宮です。皇紀元年(紀元前660)に創建され、武の神様として広く信仰を集め、塚原卜伝など剣聖を生んだ地として知られています。江戸時代には徳川家の崇拝を受け、国宝の直刀をはじめ、数多くの文化財があります。

観光カレンダー

3月9日	(平日の場合、祭頭曜、春季祭は翌土曜日に実施)	祭頭祭
6月第2日曜日		古武道奉納演武大会
7月初旬		鹿嶋市花火大会
9月1日・2日		提灯まち・神幸祭
9月2日	(12年に1度、午年に開催)	御船祭

鹿島アントラーズ

J1リーグの強豪クラブ

鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、銚田市を中心とする近隣地域をホームタウンとするサッカーチーム。チーム名の「アントラー(antler)」は英語で鹿の枝角を意味し、鹿島神宮の神鹿にちなみ、枝角は茨城県の茨をイメージしています。マスコットはシカをモチーフにした「しかお」「しかこ」「アントン」。



スポット

メルカリスタジアム



スポット

約4万人収容の鹿島アントラーズのホームスタジアム。併設のサッカーミュージアムでは、チームの歴史がわかるレジェンドOBのスパイクなどが展示されています。2002年日韓W杯及び東京2020夏季五輪の会場となりました。

平井海水浴場



スポット

砂浜が広く波が穏やかな平井海水浴場。海水浴場期間中は、ライフガードが常駐しており安全な海を楽しめます。また、隣に位置する下津海岸は市内で唯一、潮干狩りを楽しむことができます。

大野潮騒はまなす公園

高さ77mの展望塔が目印

360度のパノラマが楽しめる「宇宙展望塔」や平成24年度に導入された最新のプラネタリウム、鹿嶋の暮らしの今昔を展示する郷土資料館がある公園。広大な園内には海に向かって滑り降りる全長154mの「ローラーすべり台」をはじめ、ザイルクライミングのある子ども広場、自然の沢を利用した溪流散策路、弁天池のある水と憩いのひろばなどがあります。



スポット

栽培漁業センター



スポット

ヒラメや鹿島灘はまぐり、アワビなどの稚魚や稚貝の生産、放流を行っている施設。茨城県の栽培漁業などの取り組みについて、展示水槽やパネル、ビデオなどで紹介する展示施設もあります。

鹿島アントラーズクラブハウス



スポット

ファンとチームの交流の場となるカフェやショップ、夜間照明を完備した4面もの練習グラウンドやトレーニングルームを備えた施設。観客席からは選手の練習風景を見ることが出来ます。

日本製鉄(株)東日本製鉄所鹿島地区

世界最高水準の技術力

昭和43年に操業開始、鹿島港に面した鹿島臨海工業地帯に立地。鋼板ならびに建材の製造拠点として、自動車・家電向けの薄板鋼板を中心に、厚板鋼板、鋼管、形鋼など、付加価値の高い製品を製造し、かつ世界トップレベルの生産性を併せ持つ鉄鋼一貫製鉄所です。また、生産面だけでなく、周辺の環境を大切にしているクリーンな製鉄所を目指しています。



スポット

鹿嶋市花火大会

約1万発の花火

地域最大級のこの花火大会では、北浦に立つ「西の一之鳥居」の背後に打ち上げられる約1万発の花火が鹿嶋の空を彩ります。湖畔の周辺には屋台も出店し、毎年たくさんの人で賑わいます。



イベント

鹿島神宮

「東国三社」の一つ

日本建国・武道の神様である「武甕槌大神」を御祭神とする神社。現在の社殿は徳川二代將軍の秀忠により、また奥宮は徳川家康、榊門は水戸初代藩主徳川頼房により奉納されたもので、いずれも重要文化財となっています。息栖神社、香取神宮とともに東国三社と呼ばれ古くから信仰を集めており、東国三社巡りツアーも行われています。また、皇室や鎌倉幕府の源頼朝をはじめ、徳川幕府の徳川家康や、水戸藩の徳川光圀公などに崇拝されていました。人生を転換するターニングポイントの作用を持ち、邪魔するものをはねのけ進むパワーを持つ、勝利の武神・武甕槌大神のご神気が息づくスポットです。



スポット

塚原ト伝

鹿島新當流の開祖

宮本武蔵との「なべぶた試合」の講談で知られる塚原ト伝(1489年～1571年)は、鹿島新當流の開祖。將軍足利義輝や伊勢国司北畠具教(きたばたけとものり)らの指南役も勤めました。JR鹿島神宮駅の近くには、その偉大な功績を記した碑と銅像が建てられています。墓は須賀・梅香寺跡にあり、剣の道を志す人たちが今も多く訪れています。

スポット



要石

スポット



鹿島神宮、深い鎮守の杜の最奥にひっそりと鎮座する、地震封じの「要石」(かなめいし)。ここは、太古から信仰の対象とされてきた場所でパワースポットとしても有名です。

祭頭祭

イベント



色鮮やかな祭衣を身にまとった、一団約15名が約2メートルほどある檜の棒を激しく束ねるように打ち合わせて進む勇壮な祭り。鹿島神宮の行事の中でも最も規模が大きい祭典です。

御船祭

12年に1度の水上祭

鹿島神宮では数々の祭礼が催されますが、中でも12年に一度、午年にのみ行われるのが「御船祭」です。武甕槌大神の御分霊を祀った御神輿を載せた船団が、一の鳥居をくぐって千葉県香取市加藤洲まで水路にて向かい、水上にて同じく香取神宮の神職を乗せた船団に歓待を受けた後に鹿島へと戻ってくる、絢爛豪華な国内最大規模の水上祭です。

イベント



提灯まち・神幸祭

イベント



期間中は5台の山車が街中を練り歩きます。提灯まちは大きな青竹に無数の提灯を付け、その竹を押し立てながら、最後に鹿島神宮榊門前のかがり火に投げ入れるたいへん勇壮な祭りです。

古武道奉納演武大会

イベント



鹿島神宮では6月の第2日曜日を「武道の日」と定めており、武道に関係する様々な行事を行っています。特に剣聖塚原ト伝顕彰の事業である古武道大会はその中心行事になります。

スタジアムグルメ

サッカー観戦のお供に

メルカリスタジアム内で食べることのできるスタジアムグルメはどれも絶品。特に有名なのは、ハム焼きともつ煮。鹿島食肉事業協同組合のもつ煮はカシマサッカースタジアムの各グルメで競われた「サントリーモルツメニューコンテスト」で優勝したこともあるほど。

グルメ



海産物

鹿嶋の豊かな海の幸

鹿嶋では、はまぐりや鹿島だこ、ヒラメといった海産物も豊富です。毎年12月には、鹿島灘はまぐり祭りが開催され、はまぐり料理を楽しむことが出来ます。栄養満点の鹿嶋の海で育ったたこやヒラメはどれも肉厚で地元の方にも好まれています。

グルメ



潮来市

ITAKO City

■由来／古くは伊多久(いたく)・板久と称し、天正18年(1590)

板久、元禄11年(1698)水戸藩第2代藩主の徳川光圀公の命名で潮来と改称。潮来としたのは、光圀公が鹿島に潮宮があり、常陸の方言で潮を「いた」と読むことに興を覚えたことによるもの。

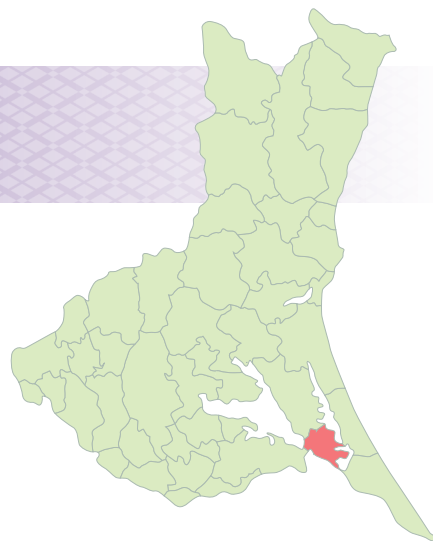
■市の花／あやめ

木／ボブラ

鳥／よしきり



水郷いたこ大使「あやめ」



東の北浦、西に霞ヶ浦、南は外浪逆浦と、水に囲まれた潮来市は、水運の要所として発展しました。その風情ある面影が国内外の人々を魅了します。潮来に初夏の訪れを告げる「水郷潮来あやめまつり」。期間中は約500種100万株のあやめが咲き誇り、「嫁入り舟」など各種イベントが実施されます。また、潮来祇園祭禮や延方相撲などの伝統的な祭りも行われています。江戸時代から文人墨客たちがこの地を訪れ、その歴史を物語る酒蔵や長勝寺、潮音寺などの名所、見所も多く点在し、年間を通して多くの観光客が訪れます。

観光カレンダー

3月下旬～4月上旬	水郷潮来桜まつり
4月下旬～5月上旬	水郷潮来藤まつり
5月下旬～6月下旬	水郷潮来あやめまつり
7月下旬	延方相撲(鹿嶋吉田神社祭礼)
8月上旬	潮来祇園祭禮
10月	水郷潮来花火大会

ろ舟遊覧&十二橋めぐり

潮来名物「舟」

水郷地域である潮来市では、昔は水路が道路の代わりであり、何をするにも舟を使っていました。「ろ舟遊覧」では昔ながらの手漕ぎのろ舟で、「十二橋めぐり」では船外機付きの舟で、水郷情緒を存分に味わえます。水戸黄門もこの地をよく訪れ、一説には「潮来出島のまこもの中に、あやめ咲くとはしほらしや」の歌も水戸黄門の作といわれています。



道の駅 いたこ

潮来の食が堪能できる

高さ13mのピラミッド型屋根がシンボルの道の駅。うるおい館「虹工房」では、お土産品や限定キャラクターグッズが豊富です。新鮮市場「伊太郎」では、新鮮野菜や畜産物及び加工品等を低価格で直売。その他、潮来産のお米や食材を使った手作り料理を楽しめます。



長勝寺

伝統的な美しさを再確認

文治元年(1185)、源頼朝によって武運長久を祈願して創建された臨済宗の名刹です。その後、水戸藩第2代藩主徳川光圀公が再建しました。また境内には松尾芭蕉が鹿島紀行での帰路に詠んだ「旅人とわが名よばれんはつしぐれ」の句碑や、頼朝の菩提の為に寄進したといわれている銅鐘は国の重要文化財に指定されるなど、歴史の深さを感じることができます。



あじさいの杜(二本松寺)



平安時代の初め天長年間(824～834)、慈覚大師円仁によって現在の潮来市茂木に創建されたと伝えられています。6月中旬～7月上旬にかけて、約100種1万本のあじさいが見事に咲き誇ります。

津軽河岸あと広場



江戸時代に津軽藩が物流拠点として使っていた津軽河岸跡を整備した観光広場。石蔵が併設され水郷情緒を味わえます。

水郷旧家磯山邸



明治32年建築の日本家屋を改築した古民家で、伝統的な佇まいを残しつつ、現代的な機能を持った施設へと生まれ変わりました。一棟貸して宿泊でき、ゆったりとした時間の中で泊ることができます。

白鳥の里



毎年、白鳥の里(北浦湖岸)には白鳥が飛来します。昭和56年の初飛来以来、例年50羽ほどその羽を休めるために訪れます。飛来期間は毎年11月下旬から3月上旬までになります。

愛友酒造

創業は文化元年(1804)、歴史と伝統ある造り酒屋です。昔ながらの白壁が美しい店舗では、無料で酒蔵見学、試飲をすることができます。大吟醸酒から梅酒まで豊富なラインアップを揃えています。その他、利き酒や直売コーナーも充実。日本酒通にはもちろん、日本酒初心者にも優しい老舗酒造です。

歴史ある潮来の造り酒屋



水郷潮来あやめ園

潮来を代表する景勝地

約500種類100万株の色とりどりのあやめ（花菖蒲）が植えられ、「水郷潮来あやめまつり」期間中には県内外から多くの観光客が訪れます。幕府の命によって行われた治水事業により、潮来は水運の要所として一気に栄えることとなりました。そんな水の都潮来では荷物の積み下ろしをする河岸が発達し、その河岸を作るために運河が発達しました。今では川を舟で巡りながら楽しむ十二橋めぐりが名物となっています。まつり開催期間中は「嫁入り舟」や「あやめ踊り」などのイベントも盛りだくさんです。また、手漕ぎの「ろ舟」も運航し、あやめの花とともに、情緒豊かな水の街・潮来を心ゆくまで楽しめます。



スポット

潮来祇園祭禮

歴史と伝統の祭禮

素戔鳴熊野（そがくまの）神社の例大祭で、八百有余年の歴史と伝統があります。毎年8月の第一金曜日から日曜日までの3日間行われ、初日から最終日までさまざまな伝統行事が行われます。獅子舞をはじめ、山車によって行われる壮大な「曲曳き」、県指定無形民俗文化財に指定されている潮来ばやしなど、充実の内容で見所満載です。

イベント



水郷潮来藤まつり

水郷を染める紫

和の風情を感じさせてくれる藤の花が水郷潮来あやめ園の約250メートルの藤棚に咲き誇ります。期間中はライトアップを行っており、昼間とは違った雰囲気を楽しめます。

イベント



延方相撲(鹿嶋吉田神社祭礼)

江戸時代から続く相撲祭

茨城県無形民俗文化財にも指定されている延方相撲。その昔、周囲の土地を巡った権利争いが、幕府の評定によって、延方村(水戸藩領)有利に解決したことを受け、感謝の意を込め、延方村鎮守である鹿嶋吉田神社に相撲祭を奉納したことに始まりました。江戸勸進相撲の格式をもって今日に伝えられ、古式の取り組み48番がとり納められます。

イベント



鯉のうま煮

昔ながらの郷土料理

利根川など豊かな水産資源によって、魚介類が豊富に採れる潮来では、昔から川魚料理も好まれてきました。特に鯉をじっくり煮込んだ甘煮「鯉のうま煮」は昔から潮来名物として親しまれてきました。鯉の輪切りを、濃い口醤油、酒、砂糖で味をつけ、アクを取りながら煮込む料理です。くせのない味で食べやすく、市内の各所で味わうことができます。

グルメ



漬物

グルメ



農産物を生かした発酵食品も豊富。ごぼう漬けや黒蜜らっきょう、てっぼう漬け(白瓜の中に紫蘇で巻いた青トウガラシを入れ漬けたもの)など、地元の色を生かした漬物が有名です。

手焼きせんべい

グルメ



手作りのおいしさにこだわり玄米を吟味し、天然醸造のたれを用い、一枚一枚を丁寧に炭火で焼き上げています。しょうゆ、ごま、かき餅、あげ餅、雪あられなど、種類も豊富です。

虹どら

お土産



保存料一切不使用のどら焼き。米どころ潮来市の米粉を使用し、しっとり上品な甘さが特徴的です。味はおぐら、さつまいも、くり、こしあんなど豊富に取り揃えています。

手作りヨーグルト

お土産



「道の駅 いたこ」で販売している地元産の牛乳を使ったオリジナル商品。コクがあり、後味がとてもすっきりしているのが特徴です。

神 栖 市

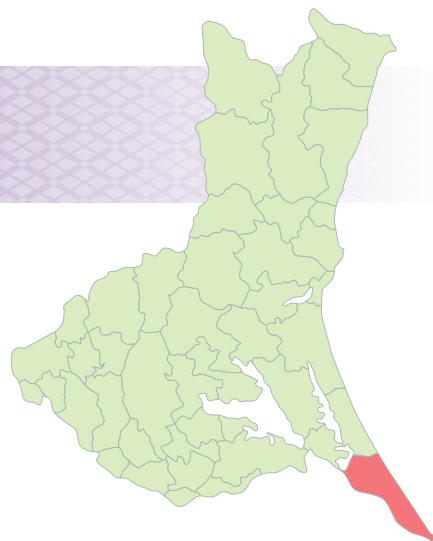
KAMISU City

- 由来／昭和30年、軽野村と息栖村が合併し神栖市が誕生しました。
その時の村名の候補は14ほどあったとありますが、
息栖神社と神之池にちなんで
神栖市と決定しました。

- 市の花／センリョウ
木／マキ
鳥／ウグイス



カミスコくん



県の東南端に位置し、東の太平洋に開けた長い海岸線では、釣りやサーフィンマリンスポーツが楽しめます。夏には日川浜・波崎の海水浴場が開設され、花火や御輿、よさこいなど、祭りやイベントが盛んなまちです。市の北部には鹿島港と鹿島臨海工業地帯があり、製造品出荷額は県内1位。近年は工場夜景スポットとしても人気を博しています。農業では、温暖な気候を生かしたピーマンがブランド品として高い評価を受け、日本一の生産量を誇っています。

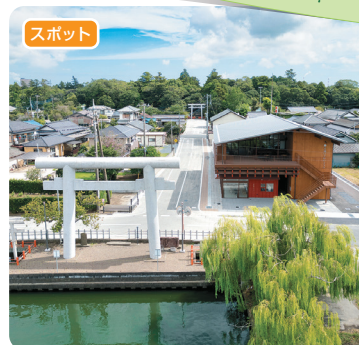
観光カレンダー

3月下旬～4月上旬	かみす桜まつり
8月上旬	七夕まつり
8月下旬	きらっせ祭り
9月中旬	かみす舞っちゃげ祭り

息栖にぎわいテラス

2025年10月オープン!

息栖神社の一の鳥居前にある地域振興施設です。神栖市の食材を使った料理を楽しめたり、お土産を買うことができます。夕方には、常陸利根川に沈むきれいな夕日を2階から眺めることができます。



スポット

息栖神社

「東国三社」として名高い神社の一社

鹿島神宮(鹿嶋市)、香取神宮(千葉県香取市)とともに「東国三社」として名高い神社です。参道の途中には、俳人・松尾芭蕉の句碑が立っています。湧き出る清水は日本三霊泉の一つに数えられ、パワースポットとして注目を集めています。



スポット

神之池緑地



スポット

一周4.4kmの池の周りには、緑地帯に沿ってトリムコースがもうけられています。春には桜まつりが行われるほか、緑地内にはスターバックスコーヒーと併設された遊具があり、多くの方でにぎわっています。

風力発電



スポット

市内の海岸線には、約28基の風車が立ち並び、近未来的な景色を望むことができます。神栖市特有の浜風を生かしたクリーンエネルギーを発電しています。

かみす舞っちゃげ祭り

よさこい演舞の祭典

神栖市のチームはもちろん、札幌YOSAKOIソーラン祭りで活躍している有力チームが全国から集まり、神栖の舞台を盛り上げます。祭りは2日間に渡って開催され、演舞コンテストや舞っちゃげナイト、総乱舞など、圧巻のパフォーマンスをお楽しみいただけます。



イベント

かみす防災アリーナ

アリーナ、プール、トレーニングルームがあり、様々な競技種目、競技レベルの方々がスポーツを楽しむことができます。各種プロリーグの会場としても利用されました。



スポット

神栖市産ピーマンソフト



グルメ

ピーマンの作付面積日本一の神栖市でピーマンが美味しいスイーツになりました。すっきりとした甘さとピーマンの美味しさが楽しめる一品です。

海水浴場



スポット

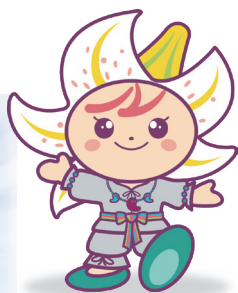
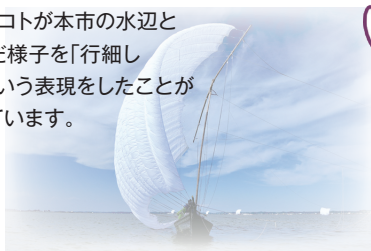
環境省選定の「快水浴場百選」に選ばれた 波崎海水浴場と、立ち並ぶ風車と広い砂浜の眺めの良さが人気の日川浜海水浴場があります。

行方市

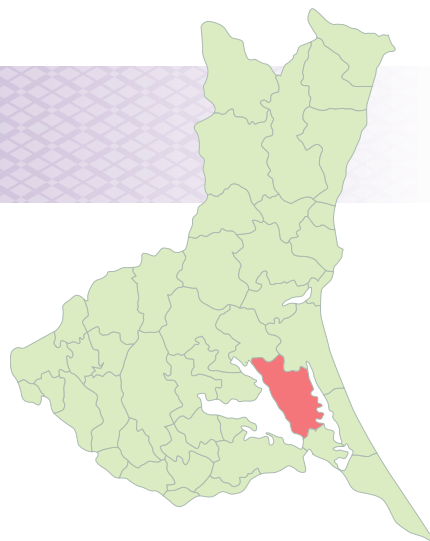
NAMEGATA City

- 由来／行方市は、麻生町、北浦町、玉造町が、平成17年9月2日に合併して誕生した市です。行方の由来は、ヤマトタケルノミコトが本市の水辺と台地の入り組んだ様子を「行細し（なめくわし）」という表現をしたことが始まりといわれています。

- 市の花／ヤマユリ
木／イチヨウ
鳥／シラサギ



なめりーミコット



霞ヶ浦と北浦という二つの湖に挟まれた行方市は、その水際が50kmにも及ぶという水に面した市です。サツマイモ、レンコン、チンゲンサイなどは行方ブランドとして全国有数の生産量を誇ります。また、湖での漁業も伝統的に行われており、かつて利用されていた帆引き船は観光用として復活し観光客に大人気です。ワカサギ、シラウオ、ハゼなどの佃煮やナマズを使った加工品なども開発され、漁業資源の有効活用も図られています。霞ヶ浦の自然を知ることができる霞ヶ浦ふれあいランドや天王崎公園、高須崎公園、羽黒山公園などの公園も人気のスポットです。

観光カレンダー

5月4・5日	大宮神社例大祭
7月	麻生祇園馬出し祭り
8月25日	化蘇沼稻荷神社例大祭
10月第3土～月	大麻神社例大祭
10月	サンセットフェスティバル天王崎
例年10月～11月	観光帆引き船

霞ヶ浦どうぶつとみんなのいえ

どうぶつたちのわかれあい体験

キリンやカピバラ、ペンギンなどの動物を間近で見て、ふれあえるレジャースポットです。2階のカフェではどうぶつにちなんだグルメもお楽しみいただけます。



スポット

行方市観光物産館こいこい

行方台地の美味しいモノが集合

霞ヶ浦湖畔の好立地にあり、眺めが最高の直売所。行方市の雄大な土地と霞ヶ浦・北浦の恵みから生まれた安心・安全・新鮮な野菜を毎朝生産者の方が届けてくれます。他にも、ここでしか買うことのできない水産物・加工物・季節限定の産物もあります。ご当地限定名物である「行方バーガー」は、こちらで食べることができます。



スポット

らぼぽなめがたファーマーズヴィレッジ

日本初のさつまいもテーマパーク

廃校になった小学校の跡地を利用し、平成27年10月にオープンした体験型テーマパーク。サツマイモの加工工場ややきいもミュージアムだけでなく、新鮮な地元野菜が購入できるマルシェやハンバーガーやピザを楽しめるレストランでは土日限定の「おいもスイーツbuffet」も人気です。四季おりおりのイベントも開催しており、大人から子供までおいしく楽しめる施設です。



スポット

あそう温泉白帆の湯



スポット

霞ヶ浦を一望できる展望風呂が自慢です。筑波山はもちろん、冬の空気が澄んだ時期には富士山も眺めることのできる日帰り温泉です。

北浦温泉 北浦荘



スポット

北浦湖畔、鹿行大橋のたもとに位置する日帰り温泉です。多様な効果を持つナトリウム炭酸水素塩泉、源泉かけ流しで地元の人に人気となっています。

行方バーガー



グルメ

行方名物「なめバックン」はバティにアメリカナマズの肉を使った行方バーガーです。ナマズのバティはチキンのようなあっさりとした仕上がりで、臭みもないためとても食べやすい一品です。

鯉料理

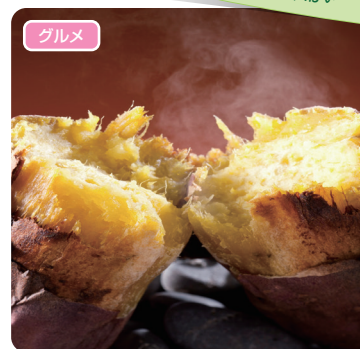


グルメ

行方市の郷土料理といえば鯉料理。代表的な食べ方として「鯉のあらい」や「うま煮」が親しまれています。

行方かんしょ

甘くしっとりした味わい



グルメ

地理的表示(GI)に登録されている「行方かんしょ」は茨城県内の他産地と比較し、糖化して甘味に変化するデンプンが量が多く、更に長期貯蔵することから糖度が高く甘みが強い良食味のサツマイモです。時節で美味しい品種を選び、リレー出荷しています。秋には掘り立てで美味しい品種を、冬から夏にかけて決められた条件で貯蔵し熟成させた甘くしっとりした品種を、1年を通して美味しいサツマイモを消費者に届けています。

銚田市

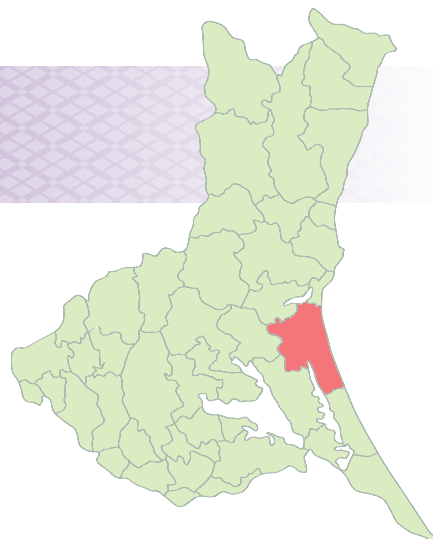
HOKOTA City

■由来／銚田の名は、16世紀にこの地におかれた神社に由来。銚神社の周囲に田んぼが広がっていたことから銚田と名づけたといわれています。

■市の花／ヒマワリ
木／サクラ
鳥／ウグイス



銚田市マスコットキャラクター ほこまる



茨城県東部、太平洋に面し、北に涸沼、西に北浦と豊富な水資源に囲まれ豊かな自然が自慢の銚田市。水はけの良い肥沃な大地と温暖な気候で育まれた野菜や果物が特産品で、なかでもメロンは日本一の生産量を誇ります。キャンプ場やゴルフ場が数多く立地し、温泉や果物狩りも楽しめます。都心から約2時間で、ほっこりした田舎の空気を味わうことができます。

観光カレンダー

1月21日・8月21日 塔ヶ崎十一面観世音大縁日

GW期間中 大竹海岸ハマグリまつり

8月下旬 銚神社御例大祭(銚田の夏祭り)

銚田市みのわ水鳥公園

ラムサール条約登録湿地「沼」を満喫!

2024年にオープンした涸沼の自然を満喫できる公園。様々な遊具や芝滑りなど、楽しめる設備が充実。野鳥ゾーンやピオトープでは水辺の散策ができるほか、涸沼水鳥・湿地センターでは双眼鏡の貸し出しも行っており、手ぶらで野鳥観察が楽しめる。

スポット



鹿島灘海浜公園

銚田市随一の絶景スポット!

目の前に海が広がる広大な芝生の公園です。松林や鹿島灘の雄大な景色、日の光を浴びられるボードウォークや遊具があるちびっこランドなど、子どもから大人まで楽しめます。

スポット



安塚公園

スポット



桜並木が広がり、北浦湖畔を望む公園。春になると100本を超える桜と、500mほどにわたる菜の花がいつせいに咲き誇り、多くの人が訪れます。

涸沼観光センター

スポット



涸沼駅に併設する観光案内施設。館内では、銚田市マスコットキャラクター「ほこまるグッス」の販売や、涸沼周辺の散策に便利なレンタサイクルの貸し出しも行っています。

厳島神社

スポット



広島県安芸の厳島より分霊をむかえた神社。子宝や安産の御利益があるといわれており、本殿は県指定文化遺産に指定されています。

銚神社御例大祭(銚田の夏祭り)

イベント



400年以上の古い歴史を誇る銚田の夏祭り。無病息災、交通安全、五穀豊穡の願いをこめて、神輿1基・山車8台が市内を練り歩きます。

市内直売所

スポット

新鮮な果物が手に入る!

メロンをはじめとし、いちごやさつまいもなど、たくさんの新鮮な野菜や果物が店頭に並びます。5月頃から10月頃にかけては、様々な品種のメロンを楽しむことができます。人気の高い干しいも(冬期)など、銚田市ならではの加工品も手に入れることができます。



・さんて旬菜館
TEL:0291-34-5500



・もぎたて市場(鹿島灘海浜公園内売店)
TEL:0291-34-1010



・サングリーン旭(JA茨城旭村)
TEL:0291-37-4147



・ファーマーズマーケットなだろう(JAほこた)
TEL:0291-34-8888

鹿行地域周遊コース

1 観光帆引き船 ＜行方市＞



2 行方バーガー ＜行方市＞



3 水郷潮来あやめ園 ＜潮来市＞



4 鹿島神宮 ＜鹿嶋市＞



鹿行地域 人口(令和8年4月時点)・年間観光入込客数(令和7年)

	人口	年間観光入込客数		人口	年間観光入込客数
鹿嶋市	63,396人	2,017,000人	行方市	28,976人	606,600人
潮来市	25,509人	1,313,200人	銚田市	43,357人	1,089,800人
神栖市	92,927人	1,240,400人			

茨城県の豆知識③

『豊富な農林水産物』



◆全国に誇る主要農林水産物(品目別産出額)

全国 第1位

れんこん、メロン、ピーマン、芝、レンコン、ほしいも、みず菜、チンゲンサイ、こまつな、はくさい、切り枝、かんしょ、くり、セリ
まいわし、うなぎ(内水面)、こい養殖(内水面)、あゆ、しらうお

全国 第2位

レタス、梨、はくさい、みつば、落花生、鶏卵、もやし

全国 第3位

ねぎ、にら、スイートコーン、そらまめ、マッシュルーム、ほうれんそう、そば
しじみ(内水面)、えび類(内水面)、はぜ類(内水面)

※農産物(令和6年) ※水産物は漁獲量で比較(令和6年)

ワン ポイント

◆茨城のメロン

全国シェア約25%を誇る日本一のメロン産地。春から初夏にかけてのアンデスやクインシー、夏から秋にかけてのアールスメロンなど様々な種類のメロンを楽しむことができます。

※令和6年産時点

◆茨城のほしいも

茨城県は国内のほしいも生産のシェア9割を占めます。砂糖や添加物を一切使用していないため、自然の甘さを感じることができます。

※令和6年産時点